

各位

2017年2月24日
日立金属株式会社
日立金属工具鋼株式会社

国内における工具鋼のソリューション営業体制強化について

日立金属株式会社（以下、日立金属）は、国内における工具鋼のソリューション営業体制強化に向けて、日立金属工具鋼株式会社（以下、日立金属工具鋼）の真岡地区拠点内に表面処理工場を開設し、複合 PVD 技術 Tribec®コーティングの表面処理設備を増強いたします。2017 年 10 月の設備稼働を予定しています。

競争力の源泉である国内製造拠点（安来工場：島根県安来市）の材料技術・製品開発力に加えて、お客様のニーズに応える設計支援などのソリューション・サービスおよび各販売拠点での加工等のサービス機能を充実させていくことで、「YASUGI SPECIALTY STEEL」の価値を高め、グローバル市場における成長をめざします。

1. 投資の目的

日立金属では、工具鋼事業の強化・拡大に向けた成長戦略を実行し、グローバル市場での成長をめざしています。成長戦略の一環として、2016 年春より、欧米標準鋼の組成と同等でありながら、熱処理変寸の抑制、耐摩耗性の向上などで高い特性を持つ新冷間ダイス鋼「SLD-i™」を量産開始しました。また、米国 Diehl Tool Steel, Inc. の連結子会社化、韓国、タイ、台湾拠点への切斷・加工、および表面処理の設備導入など、ソリューション営業体制強化に向けた施策を実行しています。こうした中、国内市場における工具鋼のソリューション営業体制の強化に向け、日立金属工具鋼の真岡地区拠点内に表面処理工場を開設し、複合 PVD 技術 Tribec®コーティングの表面処理の設備を導入いたします。

日立金属では、各種金型に必要な高い耐摩耗性、優れた潤滑性、耐熱性を追求し、それぞれの機能性物質の連続積層化が可能な独自の複合 PVD 技術を保有しています。特に自動車鋼板のハイテン化が進む中、高性能な金型が求められており、材料だけでなく、表面処理といったソリューション提案へのニーズの高まりが予測されます。ソリューション&エンジニアリングセンター（島根県松江市）に続いて、日立金属工具鋼 真岡地区拠点内に表面処理設備を導入することにより、東日本地域における需要に素早く応えることが可能となります。

これからも、当社は、材料技術・製品開発力を高め、市場やお客様が期待する新たな製品やソリューション・サービスの提供によって、顧客基盤の拡大を図り、グローバル市場での持続的成長をめざします。

2. 投資の概要

- | | |
|----------|----------------------------|
| (1) 導入拠点 | 日立金属工具鋼株式会社 真岡地区拠点（栃木県真岡市） |
| (2) 稼働時期 | 2017 年 10 月予定 |

3. ご参考

高機能表面処理 Tribec®（トライベック）シリーズ Web ページ
http://www.hitachi-metals.co.jp/products/auto/ml/p06_17.html

以上

【報道機関からのお問い合わせ】日立金属株式会社 コミュニケーション部 担当 吉原 TEL 03-6774-3073

YASUGI SPECIALTY STEEL（YSS ヤスキハガネ）は、金型・工具・刃物材料、自動車部品、エレクトロニクス材料、航空機・エネルギー材料など、多岐にわたる領域で世界No.1 シェアを獲得している特殊鋼です。

私たちは、1000 年を超える「和鋼」伝統の技を、独自の製品群へと進化させ続け、その高い技術力、経験知、より良い物を生み出す予測知といったソリューション力をバックボーンに、今、世界中のお客様がイノベーションを生み出す原動力となっています。

Our Heritage, Your Advantage：日本独創の系譜を、グローバル・イノベーションの力に変えていくために。

YASUGI SPECIALTY STEELは日本発のグローバルブランドとして、世界のお客様のビジョンを理解・共有しながら、つねにファーストパートナーとして信頼されるよう多様で革新的な提案をし続けていきます。